



## 子どものやる気を育てる ～教室と家庭との連携～

SW宮古島教室 山本義一先生

「Practice makes perfect.」— 英語をはじめとする語学の習得には「継続が大切だ」とよく言われます。教材の良し悪しや講師の指導力もちろんだ大切なことではありますが、まず何よりも学習者自身がやる気(モチベーション)を持ち、それを長く維持・継続することが大切なのです。

「例えるなら、外国語学習は短距離ではなく、長距離走。生涯続く学習です」とおっしゃるのは、ステップワールド宮古島教室のオーナー兼講師である山本義一先生。先生は30余年に及ぶ英語講師歴をお持ちで、これまで幼児～成人まで数多

くの生徒さんの英語指導をされてきました。またご自身でも(既に英検1級を取得されているにもかかわらず)いまだにTOEICに挑戦し続け、英語学習者としての努力の模範を示されています。

子どもが英語学習のモチベーションを高め、それを維持するには?そのために周りができることは?

—英語の指導面、学習面ともにご経験豊かな山本先生にお話を伺いました。

### 子どものモチベーションを維持するために

#### Q ご指導の際に心がけられていることは?

生徒を注意するときでも良さを認めて褒めることを心がけています。例えば、注意力に欠けるときでも、「あなたは英語を聞いてそっくりまねる素晴らしい能力があるよ。集中して学べば英語がとても上手になるよ。」テストで思わしくない結果でも状況を理解し、「次回は大丈夫。今回はとても疲れていたからね。先生もよくあるよ。」との言葉を添える、などです。レッスンで気乗りしない時、体調や種々の事情を理解し、集中できるよう授業の仕方に工夫を凝らしています。



#### Q では、家庭で心がけてほしいことはありますか?

短い手紙やメール、クラスだよりの中で、お子様に絶えず愛情を示し、英語学習を励ましてくださるようお伝えしています。多忙でも定期的に10分ほど時間をとり、音読を聞いてあげたりCDを聞く姿を見届けるようお願いしています。宿題を確認し、褒め、親の気遣いを実際に示していただきたいと願っています。

親御さんの励ましや誉め言葉は最大の動機付けです。また、そうした心の交流は思春期で問題になりがちな親子のコミュニケーション欠如を最小限に抑えるためにも役立つかもしれません。

#### Q 教室の指導だけではなく、やはり家庭のご協力も大切なんですね。



保護者の皆様は、忍耐強く成長を見守ってられます。身体的な成長だけでなく、知力の発達も同様です。そして、感情的な安定性も、学力の向上に不可欠です。幼児クラスでのお子様方の振る舞いに接しますと時折、幼く

ても友達への気遣いを示している場面に接して、私も爽やかさを感じます。ご家庭で良く訓練されたり、しつけをされているご様子を想像することもできます。そのようなお子様は特に学力も向上するようです。また、学習定着度が高いと感じるお子様の特徴は、以下のお子様です。

学習定着度が高いと感じるお子様の特徴

- ①保護者様とお子様が良い関係である
- ②お子様自身の集中力が高い
- ③完全ではなくとも宿題しようと心がける



1週間に50分のレッスンでは英語力向上は不可能です。保護者の皆様の忍耐強く温かいお気遣いが、お子様にとって強い動機付けになります。

### 教室と家庭との連携

#### Q 保護者とのコミュニケーションのとり方は?

##### ①メモや手紙

幼児や小学校低学年クラスではレッスンを妨げる事態が頻繁に生じますので、保護者の方々にはメモや手紙を差し上げ、言葉を選んで私自身も、生じている事態と問題を克服する努力を払うことをお伝えします。一例ですが、幼児～小3生の生徒のうち13名の保護者の方々に、レッスン毎に毎回、手帳でレッスン内容と感想を記しお渡しします。保護者の方々のメッセージも短く記されており、とても励みになっています。



##### ②クラス便り「きぼう」

毎月クラス便りを発行しています。反応ですが、内容に関して共鳴する趣旨の電話を頂いたこともあります。また、毎号を必ず冷蔵庫に貼る保護者の方もいらっしゃいます。「毎回楽しみにしている」と直接言ってくれる方もいます。

### 「英検」について

#### Q 貴教室ではどのように扱われていますか?

小学高学年で「英検」の4級、中3で準2級、高校1・2年で2級、強い意欲を持つ高校生は2年生から3年生の夏までに準1級を取得するという宮古島教室の目標を設定し、モチベーション維持に利用しています。しかし、英語能力の基礎を確実に身につけてから、受験するよう励ましています。なぜなら、宮古島の小学生は準2級までの合格者はそれ程珍しくありませんが、2級合格までに多くの年数がかかることが一般的だからです。①

#### Q 上記①についてもう少し具体的にお話しいただけますか?



例えば、小3で3級に合格したとします。中学卒業レベルとみなされます。保護者の方々は、次は準2級に挑戦するよう当然期待します。

ところが、3級合格を達成しても実際に中3生が受けている学校レベルの試験を彼らが受けたら、非常に難解と感じるでしょう。理由は明快です。測定の仕方が異なっているわけです。

小学生で準2級になんとか合格しても、恐らく高校で学ぶ文法の分野は皆目わかりません。説明もできなければ、同レベルの文法問題をみても全く分からないでしょう。まして、2級の問題はビジネス・環境問題など、高校生が学習する範囲のレベルが出题されます。それで、急速に身につけた語学力も真の意味で中身が充実し、検定合格に見合うだけの実力が伴うのはずっと後になると私は考えています。